

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	①	ソレイユの理念がスタッフへの周知・理解が曖昧であると共にご家族や地域の方々への認知も薄いのが現状である。理念は事業所の基盤であることから多くの方に知ってもらい、スタッフは理念に基づきケアのみならず人として実践してほしい。	スタッフが理念を理解し、理念に基づいた行動や発言がみられるようになる。	①ミーティング等でスタッフに真意を含めて再説明。 ②貼紙を見やすく作り直し設置する。 ③オープンして1年経つので手紙などに同封する。 ④運営推進会議で理念に触れる。 ⑤理念に沿った年度目標を立て実行していく。	6ヶ月
2	⑩	家族の意見や要望、また本音が解らないことが現状としてあり、期待に応える運営が出来ているか心配がある。また方向性を見たい。	ご家族からソレイユに対して、少しでも本音の想いを知り、スタッフ全体で確認し、実行出来る事については行動する。	①ご家族へのアンケートを検討・作成・実施する。 ②アンケート内容を把握・検討する。(公表する) ③実施できない内容については長期的にどうしていくのか課題に残す。	6ヶ月
3	③③	入居者の重度化・看取りなどについてソレイユとしての体制作りが薄く、スタッフに不安が見られる。	大まかに体制が整い、スタッフが解りやすく理解できるようになる。	①看取りなどについてのマニュアルを整備する。 ②看取りについての勉強会の開催。 ③スタッフの不安なこと、必要と考えること等情報収集する。	9ヶ月
4	③⑤	非常災害時の必要物品が備蓄されていない。	必要最低限での物品を揃えスタッフが周知できる。	①水の購入と保管場所を決め保管する ②食料を調理する物品の購入や保管場所を決め保管する。	3ヶ月
5	⑬	全スタッフを対象とした面談が実施できておらず、また教育体制が薄い。	スタッフと面談し具体的な目標設定をおこない支援できるようになる。	①個別面談を実施する。 ②個別での目標設定や実施内容を書面で残し指導していく。 ③キャリア段位制度を活用する。	3～6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。